

平成31年度 学校経営全体計画

京都市立京北第二小学校

児童の実態

- 子どもらしく素直で明るい。
- 真面目に物事に取り組むが、学力に課題がある児童もいる。
- 生活体験や社会体験が少ない児童が少なくない。
- 自分の考えを表現できるようになってきた。
- 自ら考え、主体的に行動することは不十分。

【教育目標】

京北地域の主体者として、伝統と文化を受け継ぎ、自らの進路と地域の未来を切り拓いていける子どもの育成
～言語能力と地域創生力を伸ばす～

【めざす子ども像】

- ☆自分の考えを表現し、進んで学ぶ子
- ☆ふるさとを愛し、思いやりのある子
- ☆積極的にチャレンジし、粘り強くやり通す子

家庭・地域の実態

- 教育に熱心であり、学校への信頼が厚い。
- 三世代家庭が多く、祖父母から多くのことを学んでいる。
- 豊かな自然と歴史に恵まれ、地域に誇りと愛着を持っている。
- 人材が豊富である。

【経営方針】

- (1)一人一人を徹底的に大切にする中、子どもが安心して力を發揮し、切磋琢磨しながら、自分の力を高めようとする場作りに努める。
- (2)学力向上プランに基づき、社会に開かれた教育課程の下、PDCA のマネジメントサイクルを進め、学力の向上に繋げる。
- (3)小中一貫校開設に向け、子どもの実態や地域の特色、9年間の目標を踏まえた系統的な教育課程の編成や教育活動の検証等を進める。
- (4)教育公務員としての使命と責任を自覚し、真のワークライフバランスの視点も踏まえ、全教職員で創意ある教育活動を展開し、学校全体の教育力アップを図る。
- (5)学校教育活動の情報発信を進め、学校としての説明責任を徹底すると共に、学校評価を活用して、学校・家庭・地域が連携・協働して、学校改善に向けての取組を推進する。

【重点課題】

- (1)自分の考えを表現し、進んで学ぶ子
 - 子どもが主体的に進める授業の実践（「めあて」に応じた「まとめ」と「振り返り」の徹底、課題発見・解決型の授業展開の工夫）
 - 基礎的・基本的な知識・技能の習得（繰り返し練習の徹底、活用の場の設定）
 - 言語活動の充実（話し合い活動の充実<学習規律の定着・集団解決の中での思考力の向上>、書く力の向上<ノート指導を中心とした学び方の指導の徹底、体験活動との連動>）
 - 家庭学習の習慣化（系統性のある内容、授業との連動、自主学習の促進）
- (2)ふるさとを愛し、思いやりのある子
 - 道徳教育の推進（考え方・議論する道徳の授業の実践、各教科や特別活動等と関連付けた取組の実践）
 - 地域の特色を活かした生活科や総合的な学習の実践（地域の自然・文化・人材の活用、ふるさとをよりよくしていこうとする取組の実践）
 - 縦割り活動の充実（よりよい人間関係の構築、リーダー性のさらなる向上）
 - 「なかよしの日」の取組（人権学習）の系統的な実践（人権問題についての正しい理解、人権意識の向上）
- (3)積極的にチャレンジし、粘り強くやり通す子
 - 自らの目標を目指し努力する取組の推進（朝マラソンや大縄跳び、部活動陸上部に向けての取組のさらなる充実）
 - 保健指導の充実（生活点検の取組の効果的な活用）
 - 食に関わる指導の推進（食物アレルギー等への適切な対応、地域の特色を活かした取組の実践）
 - 安全教育の充実（地域・保護者と連携した非常時への対応、危機回避能力の育成）

学級経営力の向上

- ・普通授業の充実
- ・子どもとの信頼関係の構築
- ・支え合い、高め合う学習集団作り

校内研修の充実

- ・児童の資質・能力を高める教育活動に関する研修
- ・プログラミング教育に関する研修

協働する教職員集団

- ・学校全体での組織的なOJTの推進
- ・各主任による創意ある活動の展開
- ・何でも話し合える風通しのよい職場作り

保護者・地域との連携

- ・地域行事やPTA行事への積極的な参加
- ・学校運営協議会・学校評議員、諸団体との連携